

延岡市第三セクター等経営状況および点検評価結果報告書

1 作成基準日	令和7年6月16日		作成担当課室		総合福祉課		電話番号		22-7016(内線2606)				
2 名称等	名称		株式会社ヘルストピア延岡			代表者		代表取締役社長 読谷山 洋司					
	所在地		延岡市長浜町3丁目1954番地2			電話番号		0982-34-1111					
	設立年月日		平成5年4月6日			法人番号		3500-01-006998					
3 資本金	100,000 千円(市出資額: 65,000 千円) (出資割合: 65 %)												
4 設立目的	延岡市の所有する余熱利用健康施設ヘルストピア延岡の管理業務及び運営業務を受託することを目的とする。												
5 事業(業務)内容	・延岡市の所有する余熱利用健康施設ヘルストピア延岡の管理業務及び運営業務 ・飲食物、その他の物品の販売施設の設置及び運営に関する事業。 ・各種イベントの企画及び運営業務。												
6 役職員数および給与の状況	【役員】	総数	うち市職員・退職者数	役員報酬総額 (千円)・R6年度	【正職員等】	総数	うち市職員・退職者数	平均年齢	給与・賞与総額 (千円)・R6年度				
	役員	8	1	0	正職員	6	0	57.5	24,188				
					正職員以外の常勤職員	32	0						
7 財務状況	貸借対照表	項目	金額(千円)			損益計算書・正味財産増減計算書	項目	金額(千円)					
			R4年度	R5年度	R6年度			R4年度	R5年度	R6年度			
		資産合計	64,938	67,993	57,433		経常収益	159,411	170,246	161,961			
		負債合計	44,384	43,954	38,166		うち市からの補助金・委託料	69,260	57,994	48,777			
		純資産合計	20,554	24,039	19,266		経常費用	152,005	166,507	166,477			
		利益剰余金	▲ 79,446	▲ 75,961	▲ 80,734		経常利益(損失)	7,406	3,739	▲ 4,516			
							当期利益(損失)	7,198	3,486	▲ 4,773			
							当期利益(減価償却前)	9,054	5,645	▲ 2,732			
		8 第三セクター等経営状況チェック表による予備的診断評価	B	A	経営努力を行いつつ事業は継続								
				B	事業内容の大幅な見直し等による抜本的な経営改善が必要								
C	深刻な経営難の状況にあり、経営の観点からは、事業の存廃を含めた検討が必要												
9 第三セクターへの関与の状況	(1)財政的関与												
	項目		金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)							
			R4年度	R5年度	R6年度								
	①	運営補助金	0	0	0								
	②	①以外の補助金	0	0	0								
	③	指定管理料	69,260	57,994	48,777	ヘルストピア延岡の管理運営 ※指定管理料は税込みの金額							
	④	事業委託料	0	0	0								
	⑤	税の減免額	0	0	0								
	⑥	短期貸付金残高	0	0	0								
	⑦	長期貸付金残高	0	0	0								
	⑧	その他	0	0	0								
	(2)人的支援												
＜人的支援の内容＞ なし													
10 施設利用者等の推移	施設名		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度					
	温浴施設		177,852	86,973	118,379	130,684	149,628	151,709					
	プール施設		57,491	13,312	26,966	34,006	45,734	46,006					
	両方利用		14,850	3,948	6,811	8,783	12,210	12,277					
11 大規模修繕等の計画	・現在、大規模修繕等の計画は無いが、計画的に設備等の更新や修繕を行っている。 R7 修繕料 予算:6,358千円 R6 修繕料 実績:8,967千円、工事請負費 実績:6,309千円 R5 修繕料 実績:8,077千円 R4 修繕料 実績:4,963千円、工事請負費 実績:5,885千円												
12 今後の取組み等に関する特記事項(所管課)	・ヘルストピア延岡ビジョン策定検討委員会において示された「ヘルストピア延岡の今後のあり方と進むべき方向について」を受けて経営改善に取り組んでいる。 ・入館者増を図るため、季節ごとのイベントを実施した。また、外部講師を招いて職員研修を行い、経営面の意識改革やサービス向上等に努めた。今後も、施設の安全管理を最優先に取り組みながら、経営の安定化を図る。 ・開館から30年が経過し、設備等の老朽化が進んでいるため、長寿命化に向けて計画的な更新や修繕を施すとともに、施設のあり方について検討する必要がある。												